[可読性]

欧文フォントの種類

[1.Arial](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-1)

特徴： Arialは斜めに設計されています。

[2.GEORGIA](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-2)

特徴：スクリーン上でつぶれにくい設計になっていたり、数字の書体がオールドスタイルなため本文との調和性がとりやすいなど細かな部分まで考えて作られたフォントです。

[3.Myriad](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-3)

特徴：サンセリフ体であり**g**や**y**の文字が少しカーブがかっているのが特徴で可愛らしく上品な印象を与えてくれます。アップルがコーポレートフォントに採用していることもあり目にする事が多いフォントの1つでもあります。

[4.Verdana](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-4)

特徴：マイクロソフトがコンピュータ用ディスプレイ上で視認性向上の為に開発したサンセリフ体のフォントです。Windowsにインストールされている扱いやすいフォントの1つです。人間味のあるサンセリフ体で、**視認性のよさ・スリムさ・安定感**を備えています。

[5.TimesNewRoman](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-5)

特徴：この書体はイギリスの新聞のために生まれた書体です。  
新聞用書体なので、読みやすさがあります。

少し堅めの印象があり、信頼感や誠実性を感じます。

和文フォントの種類

[6.AXIS](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-6)

特徴：元々この雑誌専用に作られたフォントなので文章に利用しても非常に読みやすい上、雑誌がバイリンガル化していることもあり和文欧文のフォントが展開されていて非常に重宝するフォントです。

[7.ヒラギノ角ゴ・明朝](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-7)

特徴：可読性と存在感を両立させたフォントで、見出しから本文まで幅広く使える欧文和文フォントです。同様にヒラギノ明朝も非常に美しいフォントでシャープさと筆記体をマッチさせた情感豊かなフォント。

[8.MS Pゴシック・明朝](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-8)

特徴：ウィンドウズの標準フォントです。

[9.見出ゴMB31](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-9)

特徴：伝統的かつ落ち着きのある見出し用ゴシックです。大きく見せる見出しや、長くなりがちなキャッチコピーでもゆったりと意味を伝えることが出来るこのフォントは非常に使い勝手がよく、見出しでよく利用しています。

[10.見出ミンMA31](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-10)

特徴：重圧的な印象に伝統さを感じる見出し用明朝体です。漢字の書体は重たく感じますが、カナはやや細く可読性の高さを引き出した書体

[11.メイリオ](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-11)

特徴：ベースはVerdanaからのリデザインであり、和文においてはVerdanaを基調にデザインされました。

[12.リュウミン](https://wp.yat-net.com/?p=3444#p1-12)

特徴：絶妙なバランスをもった明朝体のフォントで非常に親しみのある書体です。見出し、本文組まで幅広く活用できるリュウミンはDTPの基本書体ともされ、幅広く利用されています。

まとめ

様々な情報媒体に応じての文字フォンがあり、全てのフォントが見やすくする為に生み出されている。